

ビワ生育情報

千葉県
平成30年7月号

最近1年間の気象及びビワの生育状況

平成29年7月から平成30年6月までの月別の気象は表1に示した。この1年間の平均気温は16.1℃で平年より0.5℃高かった。特に平成30年3、4月は館山測候所においてそれぞれ過去50年での最高値を記録するなど、平年より著しく高く推移した。降水量は年合計が2,233mmで、平年の110%、前年の123%であった。日照時間は年合計が2,122時間で、平年の109%、前年の106%であった。

時期別の気象とビワの生育状況を振り返ると、平成29年の梅雨明けは7月19日頃で平年より2日早く、秋の気温は平年並みに推移したため、花房の発現は平年並みであった。8月の日照時間は短く、花房の着生率は平年より少なかった。関東に接近した台風は4個あり、潮風害による樹勢の低下がみられた。冬の間の気温はやや低かったが、開花の進みは早かった。幼果が寒害を受ける最低気温-3.0℃以下の日が4日あったため、寒害は平年より多かった。3月以降の気温が平年より著しく高く推移した影響で、果実の生育は平年より早く進み、収穫期は平年より早かった。

表1 平成29年7月～平成30年6月の気象（暖地園芸研究所）

年	月	気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
H29	7	25.6	24.4	24.0	39	194	114	250	169	182
	8	25.6	26.0	26.0	140	144	232	156	217	169
	9	22.5	22.7	24.0	282	251	239	134	145	104
	10	17.7	17.9	18.9	525	250	86	99	137	118
	11	13.6	13.2	11.9	289	148	186	156	145	122
	12	7.7	8.6	9.6	42	85	119	191	165	188
H30	1	5.8	6.0	6.1	111	90	66	193	170	206
	2	6.0	6.3	7.0	21	97	29	161	152	185
	3	11.8	9.2	8.1	204	186	148	200	157	173
	4	16.2	13.9	13.8	69	174	212	205	172	184
	5	18.7	17.8	18.5	229	174	115	203	177	229
	6	21.4	20.7	21.0	282	244	273	174	133	137
平均/計		16.1	15.6	15.8	2,233	2,037	1,819	2,122	1,939	1,997

平年：昭和56年～平成22年の平均

本年度産果実の特徴

1. 収穫期

収穫期は表2に示した。暖地園芸研究所における収穫始期、盛期及び終期はそれぞれ、「楠」が5月21日、5月27日、5月30日、「大房」が5月29日、5月31日、6月5日、「田中」が6月3日、6月5日、6月8日であった。収穫盛期は3品種共に平年より7～10日、前年より8～12日早かった。花房の発現は平年並みで、開花の進みは早かった。3月から収穫期までの気温は平年より著しく高く推移したため、幼果の生育は早く進んだ。

表2 収穫期（暖地園芸研究所）

品 種	収穫始期(月. 日)			収穫盛期(月. 日)			収穫終期(月. 日)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
楠	5.21	5.29	5.31	5.27	6.3	6.5	5.30	6.7	6.8
大房	5.29	6.3	5.31	5.31	6.7	6.8	6.5	6.11	6.11
田中	6.3	6.11	6.15	6.5	6.15	6.17	6.8	6.19	6.19

平年：昭和63年～平成29年の平均

2. 果実の大きさ及び収穫量

収穫果実の大きさと品質は表3に示した。果重は「楠」が50g、「大房」及び「田中」は3地区の平均でみるとそれぞれ67g、65gであった。「楠」は平年より5%下回り、「大房」は平年より16%下回り、「田中」は平年より13%下回った。

横径は「楠」が4.4cm、「大房」及び「田中」は3地区の平均でみるとそれぞれ5.0cm、4.8cmであり、3品種共に平年を下回った。縦径は「楠」が5.0cm、「大房」及び「田中」は3地区の平均でみるとそれぞれ5.4cm、5.1cmであり、「楠」は平年を上回り、「大房」は平年並みで、「田中」は平年を下回った。

果形指数は「楠」が0.88、「大房」及び「田中」は3地区の平均でみるとそれぞれ0.93、0.94であった。平年に比べて「楠」及び「大房」は縦長、「田中」は横長の果形であった。本年の着花房率は低く、寒害を被った幼果が多かったため、最終的な着果量は3品種共に平年より少なかった。果樹カメムシ類の被害は少なかったものの、主力品種「大房」は小玉傾向であったため、産地全体の収量は平年より少なかった。

3. 糖度及び酸度

糖度は「楠」が13.4、「大房」及び「田中」は3地区の平均でみるとそれぞれ12.3、12.9で、3品種共に平年より高かった。

酸度は「楠」が0.12、「大房」及び「田中」は3地区の平均でみるとそれぞれ0.17、0.33で、「楠」は平年より低く、「大房」は平年並みで、「田中」は平年より高かった。

4. 食味

果肉硬度は「楠」が0.48、「大房」及び「田中」は3地区の平均でみるとそれぞれ0.57、0.54で、「楠」及び「田中」は平年より軟らかく、「大房」は平年並みであった。

糖酸比は「楠」が109、「大房」及び「田中」は3地区の平均でみるとそれぞれ72、40で、3品種共に平年より甘味を感じやすかったため、食味は良好であった。

5. 病害虫及び生理障害の発生

本年は、収穫期までの果樹カメムシ類の飛来数は少なく、産地における被害も少なかった。クワゴマダラヒトリの食害は平年より少なかった。病害では、がんしゅ病の発生がややみられた。生理障害では、5月から収穫期直前まで日差しが強く、高温の影響で「大房」を中心に日焼け及び紫斑症の発生が多かった。

表3 果実の大きさ及び品質

品種	調査地	果重(g)		横径(cm)		縦径(cm)		果形指数		糖度(Brix)		酸度(g)		硬度(kg)		糖酸比	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
楠	暖地園研	50	53	4.4	4.5	5.0	4.8	0.88	0.95	13.4	12.3	0.12	0.15	0.48	0.52	109	81
	青木	60	79	4.8	5.3	5.1	5.4	0.94	0.98	12.9	10.5	0.15	0.15	0.54	0.57	84	71
大房	南無谷	71	78	5.1	5.2	5.6	5.4	0.91	0.97	11.5	10.6	0.19	0.17	0.58	0.56	60	62
	暖地園研	72	83	5.1	5.3	5.5	5.5	0.94	0.97	12.4	11.2	0.17	0.19	0.58	0.58	73	59
	平均	67	80	5.0	5.3	5.4	5.4	0.93	0.97	12.3	10.7	0.17	0.17	0.57	0.57	72	64
田中	青木	61	73	4.7	5.0	5.0	5.4	0.95	0.93	12.5	11.2	0.33	0.28	0.53	0.55	38	40
	南無谷	64	72	4.8	4.9	5.1	5.5	0.95	0.90	13.1	10.2	0.27	0.32	0.53	0.56	48	32
	暖地園研	68	79	4.9	5.1	5.2	5.6	0.94	0.92	13.2	11.4	0.38	0.29	0.56	0.56	35	39
	平均	65	74	4.8	5.0	5.1	5.5	0.94	0.91	12.9	10.9	0.33	0.30	0.54	0.56	40	37

果形指数：横径/縦径 糖度：屈折糖度計の測定値 酸度：果汁100ml中の酸含量をリンゴ酸(g)に換算した値
 硬度：果実硬度計による測定値 糖酸比：糖度/酸度
 平均：3地区の平均、平年：昭和63年～平成29年の平均(ただし硬度は平成12年～平成29年の平均)

8月～10月の作業

8月下旬から9月下旬までがせん定及び施肥の適期となる。花芽は9月中旬頃には確認できるようになり、10月に入ると発育が進み、花房の形を表し、10月上中旬には摘房・摘らいの作業が始まる。

せん定

8月下旬から9月中旬に行う。徒長枝や混んでいる枝を間引いて、樹冠内部に光が入るようにする。作業の効率化を図るため、二段盃状形の樹形を目指し、低樹高化に努める。

施肥

9月に基肥を施用して花房の伸長、充実を図る。耕土の浅い園では10a当たり成分量で窒素12kg、リン酸9kg、加里9kgを施用し、耕土の深い園ではそれぞれ11kg、9kg、7kgとやや少なめにする。

摘房・摘らい

摘房は発育不良の花房や混み合った花房を間引き、1樹の全枝の半数に花房を残す。摘らいは花房基部から3段目までの小花梗の中から充実した2段を残して他をかき取る。花房の長さが3～5cmの時に摘らいすることで、開花期間を延長させることができ、寒害の被害を受けにくくすることができる。

なお、表の数値は、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計は一致しない場合がある。

【問合せ先：千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室 電話0470-22-2961】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>